

リンパ球交差試験について

○ 現状

リンパ球交差試験については、現在、各臓器移植希望者（レシピエント）選択基準の 1. 前提条件または 1. 適合条件の中に「リンパ球直接交差試験（全リンパ球または T リンパ球）陰性」であることを求めている。

平成 23 年 3 月に腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準の改正が行われた際、「リンパ球交差試験（全リンパ球または T リンパ球）陰性」とした。

○ 腎臓移植の基準等に関する作業班での議論

（臓器移植委員会への説明）

リンパ球直接交差試験については従来から行われてきたが、近年、技術的な進歩があり、より感度の高い間接法も行えるようになってきた。そのため、選択基準の中にリンパ球直接交差試験という表現では検査法を限定してしまうこととなるので、リンパ球交差試験と変更を行うこととした。

○ 今回、確認したいこと。

腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準に習い、膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準でも「リンパ球直接交差試験」から「リンパ球交差試験」へ変更して良いか。